



特110
701

272



始





特
70

家庭訓

汝の父母を敬へ、是は汝の神エホバの 汝にた

まふ所の地に 汝の生命の長からんためなり

出埃及記第二十章十二節

子なる者よ 汝等主に在て兩親にしたがふべし

是合宜なれば也

以弗所書第六章一節

父なる者よ 爾曹の子を怒すること勿れ、主の

警戒と教訓を以て養育すべし

同 六章四節

蔬菜をくらひて互に愛するは 肥たる牛を食ひ

て互に恨むるに愈る

箴言十五章十七節

睦じうして、一塊の乾けるパンあるは、あらず

ひありて 宰れる畜の盈たる家に愈る

同 十七章一節

28.

開校式

Opening H. mu.

立禮

開校の歌 (さんびが百三十七譜)

- 一、すきしむゆかの ひとめぐり たへなるみてに よりすがり
- みなもろともに つゝがなく きよきこのひを むかへたり
- 二、さんびのうたの いさましく いのりのこゑの しほらしく
- みたまのしるべ あふぎつゝ そでをうられて まなぶなり
- 三、みふみのそのよ なしへぐさ はなのかほりを みにうけて
- ちよととくとのお おぬたちを けふもひたすら ねがふなり

祈禱及讚美歌

(祈禱後直ちに最も大聲に唱ふ) Prayer.

- 聖なるせいなる せいなるかな 三にいまして
- ひとつなる 神の御名をば あさまだき
- おきいでよこそ 返めまつれ

交讀文 RESPONSIVE READING

校長 エホマはその聖殿に在ますぞかし、全地はその御前に黙すべし。

教師 感謝しつつその聖門に立ち、ほめたまへつつその大庭にいれよ。(哈巴谷書二〇廿)

生徒 エホマはめぐみふかくその憐憫がきりなく、その眞實よるづ世におよぶべければなり。(全百〇五)

一節 願はくばすべての人エホマの恵により人の子になしたまへる奇しき事跡によりてエホマをほめたまへんことを。(全百七〇廿一)

頌歌 DOXOL. GY. (さんびが四百六十二)

父みこみたまの おほみかみに ときはもかきはも
みさかへあれ アーメン

十福音

- 一、心の貧しき者は福なり
天国は即ち其人の有なればなり。
- 二、哀む者は福なり
其人は安慰を得べければなり。
- 三、柔和なる者は福なり
其人は地を嗣ことを得べければなり。
- 四、饑渴ごとく義を慕ふ者は福なり
其人は飽くことを得べければなり。
- 五、矜恤ある者は福なり
其人は矜恤を得べければなり。
- 六、心の清き者は福なり
其人は神を見ることを得べければなり。
- 七、平和を求むる者は福なり
其人は神の子と稱せらる可ければなり。
- 八、義しき事の爲に責めらるる者は福なり
天国は即ち其人の有なればなり。
- 九、我が爲に人爾曹を罵り、また迫害め、偽りて各様の悪言をいはん、其時爾曹は福なり
- 十、受るよりも與ふるは福なり
蓋神は喜びて施をする者を愛し給へばなり。



箴言 (童蒙さんびか十七)

一、わが子よ わが子	主の うちたまふ
その ころしめを	な かるしめそ
主は ことさらに	その あいする
まことの 子をば	うちたまへり
二、わが子よ わが子	智恵を得よ
さときを うるは	黄金よりも
白銀よりも	いやまされる
一 からの うちの	たからなるぞ
三、わが子よ わが子	おのが みちを
すみやかに はなれ	かみの をしへ
みちびき たまふ	みちの ほかは
右も ひだりも	な ぶりむさぞ

小子等よ、父の訓をさけ

箴言四章四節

は調四分ノ四 父母のをしへ

3. 3. 2 1 | 5. 5 5 3 | 6. 6 5 3 | 2 - . 0 | 3. 3 5 5 | 6. 1 2 2 | 3. 2 1 6 | 1 - . 0 |
 2. 1 6 5 | 6. 6 6 - | 1. 1 6 6 | 5 - . 0 | 6. 6 5 5 | 3. 4 5 6 | 5 3 3. 2 | 1 - . 0 ||

父母の教へ

(一) 父のおしへの貴さよ

義しき神につかへよと

君に忠義盡せよと

これぞ眞の義のをしへ

(二) 母のをしへのかしこさよ

愛のみかみによりのため

總をささげまつれよと

これを眞の愛のみち

父或は母を罵る者は必ず殺るべし 利二〇九



我すなごりにゆかん (約廿一〇三)

我多くの漁者をよび來りて (耶十六〇十六)

彼らを漁らせん

澳へいで網を下してすなごれ (路五〇四)

汝ら人をすなごる者とせん (可一〇十七)



あたらしいせいとをつれておいでに
 その人がつゞいてきますと鯉を一尾
 あげます。

温和=(は調三分ノ四拍子) 母のおもひ

5.5 $\dot{1}$ 7 | 6.5 5- | 3.3 2 1 | 5 - .0 | 5.5 $\dot{1}$ 7 | 6.5 5- | 3.3 2 3 | 1 - .0 |

3 3 3 2 | 1 3 5- | 6.5 5 3 5 | $\dot{1}$ - .0 | $\dot{1}$ - 7 6 | 5.5 3 3 | 5.3 2 3 | 1 - .0 ||

おほくの子女のよろこばしき母たらしめたまふ
詩百十三〇

母の思ひ (一)
 なでてそだて、
 教へたて
 人となりての
 後もなほ
 こゝろのやみに
 身をくだく
 母のめぐみは
 たふとしや
 (二)
 智慧も器量も
 世にこえよ
 あしき道にな
 まよひそと
 こゝろのやみに
 夜ももねぬ
 母のなさは
 たふとしや

一ト月の間、よく笑ますか、
 泣きますか、注意して、どちらか、

笑!

どちら

泣!



傳道書十一卷九節
 こどものときから うれしい
 こゝろを もつて おれよ。
 ……
 いつも かみさまをしんかうして
 よろこんで おれよ。
 跪立比書四章四節

箴言三十九章十六節
 よく はらを たてるものは
 ばつを うける。
 ……
 すぐ なみだをながすような
 よわむしではいけない。
 エレミヤ書三十一章十六節

澤山の麓へ、笑ひカードか
 泣きカードかをはりますよ。

へ調四分の二

1 2 3 4 5 5 | 6 6 5 | 4 4 3 3 | 2 2 1 | 5 5 4 4 | 3 3 2 | 5 5 4 4 | 3 3 2 ||

1 2 3 4 5 5 | 6 6 5 | 4 4 3 3 | 2 2 1 ||

楽しき家

- 一 我世は神の 恵にみちて
- 讃美の歌の 節おもしろく
- よろこびのこゑ 常世に通ふ
- 二 榮の神の そのみひかり
- 浮世のなげき あとなくさへて
- むつびの家に 花咲きかほる
- 三 思へば樂し 朝な夕なに
- 恵の露は 身をうるほして
- 神の聖國は 我家となりぬ

我と我家とは共にエホバに事へん

ヨシア書廿四〇十五

愛無き家庭は地獄なり

四 諺



すべての家族と偕に神を信じて喜べり
徒十六〇三四

ホーム

(第一篇さんび)
か三百八十三

みかみをちと
あがめまつりて
つこうるいへの
そのたのしさよ
(二)
うからはらから
したしみむつび
すべてをわかつ
そのうれしさよ
(三)
あさなゆふなに
いそしみはげみ
みさかえあれと
よろこびうたふ
(四)
霜がれはてし
うき世にすめと
とこ世のはるの
こゝちこそすれ

笑泣唱歌

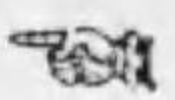
(鬼と鐘の譜)

これもしらよいと ○ ○ さん。
あなたのおかほは あいらしや。
あさからばんまで ニコニコと。
天使のおめんを かりたのネ!

笑!



どちら



泣!

箴言二十二章十三節

つまらぬものは いつも
ばつを うけるようなことをする

.....
よくなくこの かほはあかくして
めも はれて いる

約百記十六章十六節

テサロンケ前五章十六節
いつよ ろこんで おれよ

.....
こゝろに たのしみがあると

かほいらが よろこばしい

箴言十五章十三節

これもしらよいと ○ ○ さん。
あなたのおかほは どうしたの。
あかくてこわくて はれて いる。
あくまのおめんを かりたのネ!

禁酒

(子供禁酒の歌第二十八)
第一さんびび三八六の譜

一 おさけはあくま おそろしい

まむしのやうな ものですと

わたくしどもは のみません

おのみなさるな みなさんも

二 おさけはあくま おそろしい

ちごくにおとす ものですと

わたくしどもは のみません

おのみなさるな みなさんも

三 おさけはあくま このくにを

やがてほろぼす ものですと

わたくしどもは のみません

おのみなさるな みなさんも

四 いまからのちは みなさんと

けつしておさけを のまないで

くにとからだを たましひを

ほんとにきよく まもりませう

酒にふけり、肉にをたしむものと、交ること勿れ

箴言二十三〇二十

開校式

- 一、讚美歌 (生徒を総合した後一二節を唱ふ)
- 二、勸話 (校長若くは牧師其他)
- 三、献金

いまささぐる そなへものは かすならねと
うけたまへ アーメン (さんびが二篇二五四)

四、誕生感謝式

祝歌 (ゆきびらのクリスマス鐘の音の譜)

- 一、またもひととせ めぐりきて けふはうれしき たんじやうび
- 二、ふかきみめぐみ いやまして これよりのちも みまもりの

五、報告及廣告其他

六、祈禱

七、閉校の歌

閉校の歌 (さんびが七十七の譜)

- 一、あめかせいとほはで たのしくつとひ
 - 二、まなびしうたをば けふもをはりぬ
 - 三、またくるときにも たのしくうたひ
- あたらしきうたや みふみをならはん

主の祈禱

天に在ます我儕の父よ 願くは 爾名を尊崇させ給へ。爾國を臨らせ給へ 爾旨の天に成ることく 地にも成せ給へ。我儕の日用の糧を 今日も與たまへ。我儕に罪を犯す者を 我がゆるす如く 我儕の罪をも免したまへ。我儕を試探に遇せず 悪より拯出し給へ 國と 權と 榮は 窮なく爾の有なればなり。アーメン

大正元年十二月二十日印刷
大正元年十二月廿五日發行

編輯發行兼印刷者 兵庫縣御影町ノ内字郡家 三戸吉太郎

發行所 兵庫縣御影町字都家 日曜學校教材供給所 春光社 振替口座大阪一三〇五九番

特別廣告(新奇無比の新カード)出版!!

笑 泣カード 拾枚 八錢

すなどりカード 百枚 拾五錢

送費は別

ATTENDANCE.

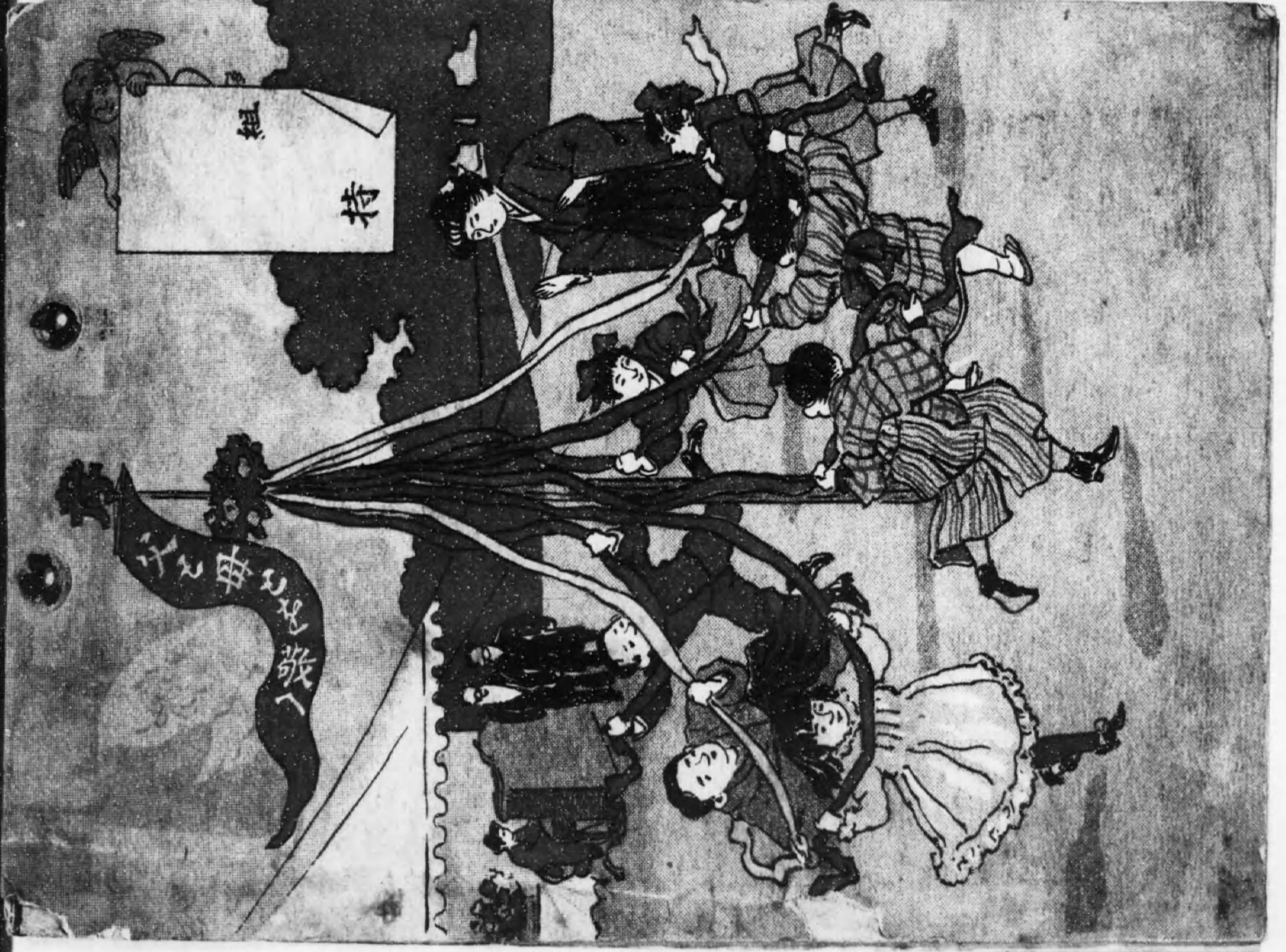
The attendance chart features a circular grid with '月' (Month) at the top and '日' (Day) at the bottom. The center contains the characters '勤怠計' (Attendance Counter). To the right, a pointed arrow shape contains the text '大正 年' (Taisho Year), '組' (Group) with a symbol, and '殿' (Honorable). A heart symbol is also present.

□出席 △欠席 ×欠席 〃病氣

勤めはたらく者の心は豊饒なり。

箴言十三章四節

惰たる者はこゝろに慕へども得ることなし。



終